



完走めざして頑張るぞ! (諏訪湖一周競歩大会) ー提供:岡谷南部中学校ー

目次

○巻頭言	1面	○児童・生徒の声	5面
○平成22年度役員名簿	2面	○栄養士さんの窓	6面
○平成22年度事業内容	2面	○新規採用学校栄養職員の抱負	7面
○給食雑感	3面	○学校給食センター紹介	8面
○講演要旨	4面	○給食会人事異動	8面
○理事長退任・新理事長就任にあたって	4面	○給食会日誌抄	8面



<http://www.nagk.or.jp/>

第163号



学校給食法改正から
二年目を迎えて

長野県教育委員会事務局

保健厚生課長 駒村 明美

食育推進の観点から大幅に改正された新しい学校給食法が施行されてから、二年目を迎えています。

長野県教育委員会では、平成二十年度にスタートした長野県食育推進計画に基づき学校での食育推進に取り組んでいます。法律の改正でより環境が整ったことから、この一年余りは、一層の進展が図られるよう取組に力を入れてまいりました。

四月には、学校現場で食育推進の中心となる栄養教諭を新たに二十名任用・配置しました。また、各種研修会では、学校給食法改正の趣旨をお伝えし、食育の更なる推進を呼びかけています。昨年五月には、学校長等へ通知で、学校給食県産農産物プラス1運動の取組等をお願いしました。更に、今年度からは、学校給食での県産農産物の利用促進に取り組むマッチングコーディネーターを配置する事業を農政部と連携して実施しています。

ここに記したのは県の取組の一部ですが、法律改正を機に、県内の市町村や学校現場、関係団体でも積極的な取組が講じられています。こうした様々な取組が相まって、子どもたちへの食育を進める大きな力となっていくことを期待しています。

また、今回の学校給食法の改正では、衛生管理基準に関する規定が整備されています。長野県教育委員会では三月に、この衛生管理基準に合わせて「学校給食の手引」運営管理編を全面的に改定しました。学校給食での食中毒の発生は近年減少しているものの、こうした機会に改めて衛生管理体制を見直すことが大切だと考えています。

学校給食には、食育の生きた教材としての役割をはじめ、様々な期待が寄せられています。そうした中、前提となるのは、おいしく、安全であることです。食育の推進という時代の要請に応えつつ、子どもたちに笑顔をもたらすおいしく安全な給食が引き続き提供されますよう、皆様のご尽力をお願いいたします。

平成二十二年度 役員会開催される

本年度第二回理事会及び評議員会が六月二十三日(水)、本会本部で開催されました。

平成二十二年度事業報告・決算報告が審議され承認されました。また、二十二年度役員についての提案があり、下表のように決定しました。

当面する運営上の課題として、新法人への移行申請に向けての協議が行われました。来年七月頃の申請を目指して準備を進め、移行先については、平成二十三年三月開催予定の役員会で最終決定をすることになりました。また、新しい法人にスムーズに移行できるようにするための来年度役員構成の変更案についても提案があり、話し合いが行われました。



— 第1回評議員会 —

平成22年度 (財)長野県学校給食会理事・監事・評議員

■評議員

Table listing council members (評議員) categorized by district (市町村, 地区選出, 県P連) and their current positions (氏名, 現職).

■理事

Table listing board members (理事) categorized by district (市町村, 学校長, 県P連, 学識経験者) and their current positions (氏名, 現職).

■監事

Table listing supervisors (監事) categorized by district (教委, 学識, 県P) and their current positions (氏名, 現職).

平成二十一年度 主な事業内容

- List of main activities for the 21st fiscal year, including school food supply, safety, and research.

給食雑感



スクールランチからコミュニティランチへ

前本会評議員
青木村教育委員長

本田昌彦

「天高く馬肥ゆる秋」の一日、小学校のランチルームで「バイキング給食」が行われます。教育委員はじめ行政関係者が招かれ、子どもたちと一緒に食事をします。用意された数々のメニューの中から、自由に選べるカフェテリア方式です。食べ放題でお代わり自由ですから、子どもも大人も大喜びです。元気な子どもと会話をしながらの食事は、楽しく一時間はあっという間で、私は、このような機会をもっと多くの地域の人々、特にお年寄りの方々に広げられたら良いと思っています。聞くところによると、アメリカの公立小学校では、コミュニティランチは、既に広く普及しているようです。地域のお年寄りたちは、子どものランチタイムに合わせて学校に集まり、子どもたちと一緒にカフェテリアで食事をとる。お互いの会話を通じた多世代間の交流が促され絆が深まります。

学校給食の理念を生かすためには、給食への選択制や多様性を採り入れたコミュニティランチの考え方は、学ぶべきことが多いと思われま。さて、我が国における少子高齢化の急速な進展は、地域社会へも大きな影響を及ぼしつつあります。当村でも、高齢化は進む一方で三人に一人は高齢者です。高齢化とは裏腹に、児童生徒数の減少は深刻です。一人暮らしのお年寄りに対して、村では配食サービスを実施しています。宅配された食事を、会話もなく寂しく食べられているのが実情のようです。学校は、地域で最も整備された公共施設です。その上、子どもたちが学ぶだけの場所ではなく、教師も親も地域住民も共に学び合う「学びの共同体」としての役割期待を担っています。学校という従来の枠をはずし、教育と福祉をつなぎ合わせていくことを考えるべき時代に入っ

給食雑感



冬山の思い出

本会理事
須坂市立井上小学校長

山岸深志

たのではないでしょうか。こうなれば当然、ランチルームの整備、自校方式での調理、栄養士や調理職員の手当てなどが必要となるでしょう。そして何よりも、ここでは食事を通じて子どもと大人が直接関わり、多世代間

の交流と地域文化の継承などが可能となることです。要するに、学校という枠を少し離れて給食を考えれば、子どもたちの育ちと地域住民の活性化につながる地域づくりが、見えてくるといえるでしょう。

本校では給食時に「給食センターだより」が時々放送されている。今日の献立や料理に使われている素材について興味深く説明してくれるのである。何気なくいつも口にしてる給食であるが、給食を作ってくれた方々の心遣いや、それぞれの食物の大切さを思い返す時である。

自分の生まれた時代は戦後何年か経っており、食料不足の時代は過ぎていたように思う。実際、ご馳走はなかったが食事にそれほど不自由をした覚えはない。給食も脱脂粉乳の時代では

あったが、それもあまり気にはならず特別な印象はなかった。しかし、成人してから忘れられない出来事があった。

冬山で悪天候のため動きがとれず幾日もテントに閉じ込められた時があった。予備食として食料は用意してきたが、毎日同じものを一日二回に分けて食べた。テントの中ではあまり動けないので腹はそれほど減らないはずであるが、どういいうわけか何か食べたいのである。仲間と食べたいものを思い浮かぶだけ並べた。そして、最後は必ず給食の話題となった。ソフト麺の

切り分け方、揚げパンの手を汚さずに食べる方法、鯨肉の歯ごたえ、食器をひっくり返してしかられた事等々。空腹をこらえながらテントの中で毎日何時間もそのような話をした。給食は私たち全員の共通話題であり、たくさん思い出がそこにはあることを知った。給食は単なる昼食ではなく、仲間とともに送った学校生活の大切な一部である。そして、何の心配もなく給食をいただいていた自分たちの幸せを思った時であった。

今日も給食センターだよりが放送されている。『今は春キャベツの時期ですが、今年は、寒い日が多くて成長が遅く、キャベツの値段も高めでした。』そして放送は次の言葉で締めくくられた。「いただきます、ごちそうさまを当たり前のように言っていますが、食べものやそれにかかわってくれた人への感謝の心が込められた、とても素敵で意味のある言葉ですね」日々の生活に慣れてしまうと食事は当たりまえのようになってしま。それが、どれだけありがたいことなのか、幸せなことなのか給食を食べながら改めて考え感謝をしている。

講演要旨

消費者問題研究所代表 垣田達哉氏

学校給食に安心・安全な食品を

昨年度三月二十五日に、給食用物資を本会に供給している業者が一堂に会して「長野県学校給食物資協力会研修・総会」が行われました。

研修会講師として、消費者問題研究所代表で食品問題評論家である垣田達哉氏をお招きして講演をお聞きしました。食の安全を脅かした最近の事件をいくつか取り上げ、示唆に富むお話をいただきました。

○いかに安全な食品を仕入れるかはメーカー責任。残留農薬検査などの安全面にどれだけお金を使うかが、今問われている。

○危機管理で重要なことは、隠さないこと。また心配なものには市場に出さないこと。いかに市場に出さないで食い止めるか、その考えを工場内などの位徹底できるかが大切。誰もが虫なんか取り除けばいいじゃないかと思っても、それが問題にさ

れる時代。「隠さない」「外に出さない」とを徹底したい。

○地産地消と言いながら、扱いが一社に集中しがちな商品がある。集中すればする程リスクも大きくなる。ところが、値段は安いし衛生面も他と比べてしつかりやってくる所であれば、注文したくはなる。学校給食ではそれが必ずしも良いとは限らない。ロットが大きくなる程に、一度事故が起きれば影響は絶大である。事故米からの教訓として、特に学校給食では、発注先を一か所に集中し過ぎないようにしたい。

○安全とは、現時点で科学的にリスクが無いと証明されていること。一方、安心とは心の問題。消費者は安心を求めている。「このメーカーなら信頼できるよね」と、信頼できる先を求めている。栄養士さんとお互いに裏切らないで誠実な仕事を進め、誠実な対応に心がけることに尽きる。



退任にあたって

前理事長 窪田雅武

去る六月二十三日に理事会及び評議員会が開催され、平成二十二年度役員を選出がありまして、六月末日をもって理事を退任させていただきました。

平成十五年の五月から長野県学校給食会にお世話になり、常務理事を一年余、専務理事を三年、そして平成十九年より理事長という大変重い任を仰せつかって三年、合わせて七年余という長きに亘りお世話になりました。学校教育現場とは全く違う世界で、間違いや失敗も多くあったにも拘らず、今日を迎えることができましたのは偏に関係の皆様の温かいご理解とご支援の賜物と心より感謝し御礼申し上げます。

さて、公益法人制度改革法が施行され、新制度における法人申請を平成二十三年の七月を目前にその準備を進めてまいりました。

設立以来「長野県の子どもの為に」良質で安心・安全なものを、低廉な価格で安定供給するという理念を大事に先輩諸氏が取り組んでこられました。この願いを曇らすことなく又薄めることなく役員一丸となり、力強く歩まれるものと確信しております。

どうか、今迄にも増して関係の皆様方の温かいご支援を切にお願い申し上げ退任の挨拶とさせていただきます。



就任にあたって

理事長 小林昭人

この度、理事長の大役を務めることになりました。

長引く不況の中ではありますが、ご家庭では子供の健やかな成長を願っております。食育の一翼を担う当団体の責務は大きなものがございます。

教育における食育を支援し、児童生徒の

健全な発達のため、最小の経費で安全・安心な食材の提供に最大限の努力をする所存であります。そして、少しでも父母負担の軽減になりますよう努めなければと考えております。

関係の皆様のご指導とご支援をお願い申し上げます。就任のごあいさつといたします。

うれしいな！ 楽しい給食

長野市立東条小学校

六年 後藤 楓

私は学校の給食が大好きです。苦手な物もあるけど好きな物もあります。私はその中で特に好きなのは主食です。主食で毎日出てくる物が全部大好きなので、他の人が残そうとしていると、もったいないのでもらうことが多くです。でも苦手な物があつたら「キライだな」「食べたくないな。」と思ってしまう。友達にあげることもありません。

親が一生けん命働いてくれたから、今おいしい給食が食べられていることを思うと、食べなきゃいけないなと思います。

もっと楽しく明るい給食になるために、保健給食委員会が中心となって楽しく明るい給食になるように頑張っています。



— 木陰で楽しく仲良し給食 —

私たちの学校には「仲良し給食」というのがあります。兄弟学級どうしでいっしょに給食を食べることで、仲良し給食で、兄弟学級どうしが仲良くなるようにやっています。他の学年とも仲良し給食をしていきたいです。そうすることで、みんなが明るく楽しくなる給食にしていきたいです。

楽しい給食



— 木陰で楽しく仲良し給食 —

感謝の気持ちを持って

上田市立第一中学校

三年 宮崎 ありさ

私は今年度、学校の給食委員会副委員長を務めています。私は、給食が好きです。給食センターで働いている方々が、手間をかけて込めて調理して下さった給食が大好きです。だからこそ、給食の管理に少しでも携われる、この委員会の一員であるのです。

しかし、私の目から見ると、

学校の中には、給食のちゃんとしたルールが守れない人が少なからず見受けられます。決まった時間にしっかりと食器などが返却できていなかったり返却の仕方が間違っていたりです。それに、最近は大分減らすことができているとはいえ、残飯も目立ちます。これでは、私たちのためにいつも学校給食を作っ



— 残食0をめざしています —

思います。

学校給食を私たちが食べることでできるのは、義務教育を終えて中学校を卒業するまでの間です。三年生の私は、今年度で給食が食べられなくなります。

最近の給食では、季節のイベントに合わせて考えられた献立や地域の食材をふんだんに使用した「地産地消」献立など、私たちが楽しく食べられるように様々な工夫がされています。そんな給食がもう少しで食べられなくなってしまうのは残念だけど、それまでしっかりと、おいしい給食を味わおうと思います。

下さっているセンターの方々にし訳が立ちません。私たちのことを考えて、いつも栄養が偏ることのない、バランスの整った給食を作って下さるセンターの方々へ感謝の心を表すためにも、給食のルールは徹底し、残飯の量も継続して減らしていけるといいなと

給食だより「はらべこくん」

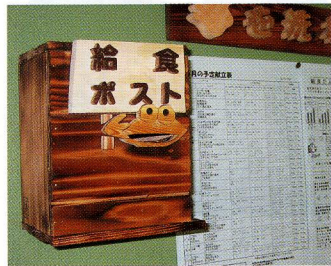
松川町立松川中学校

栄養士 伊藤 千佐子

私の給食だよりは「はらべこくん」といいます。実はこの名前は某「生ごみ処理機」の名前なのですが、とてもかわいいので使わせていただいております。

松川中にお世話になって三年目に入りますが、だいぶこの名前が定着してきて、時折白紙を入れたりすると「はらべこが白いんですけど」などと言われたりします。このお便りにはちゃんと返事を書く欄があるので、日々の給食の感想や質問、要望などが寄せられます。(お返事を入れるポストは用務員の先生が手作りをしてくれました)

この返事のほとんどは「○○がおいしかったです」「また作ってください」などのものなのですが、時には肉の文字で埋まっていたり(きつと肉をたくさん出して下さい)ということなのか、黒パンを出して下さい、と給食に



一用務員の先生お手製の給食ポスト一

出てくるまで毎日書き続けたりと、なかなか面白いものがあります。時にはこちらのミスで豚肉の肉が薄切りになってごめんなさいと書いたところ「人生には失敗もあります。めげないで頑張ってください」と大人顔負けのコメントをされたり、ひな祭りには「我が家ではこんなお寿司を私がつくりました」ときれいな押しずしの絵を描いてきてくれたり、「朝ご飯がスタミナのもとだよ」と書けば「私は朝食を少ししか食べません。でも今日のことで見直したいと思います。」など生徒なりの意見や感想が返ってきてうれしくもあり楽しくも

あります。

給食は机に向かう学習ではありませんが、食べることを通して色々なことをわかってほしいと思います。そして、毎日の給

栄養士さんの窓

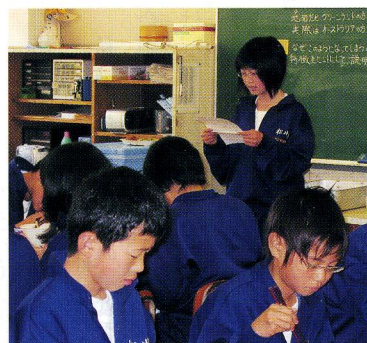
地元の方々の愛情を給食に…

茅野市立米沢小学校

栄養士 北澤 里江子

茅野市では現在、地元生産者団体のご協力により、全ての学校において地元の新鮮な野菜が給食に取り入れられています。米沢小学校でも毎年六月中旬から十二月頃までの間、約三十種類もの地場産野菜を届けていただいています。

野菜だけではありません。米沢は清水のきれいな水で作られる「米沢米」でも知られています。この米沢米は、学校での行事食の日などに取り入れていきます。これらのおいしい野菜やお米を作っているのは、地元生産者団



一給食時には「はらべこくん」が読まれます一



一「お礼の会」…真剣にお話を聞いています一

体の「みどり市さん」です。みどり市さんの中には、児童のおじいさん、おばあさんやご近所の方々がたくさんいます。孫のために、地域の子どものためのために、安全で新鮮でおいしい野菜を！と、皆さん苦労をしながらも一生懸命作ってくださいます。顔の見える身近な方々が作る野菜や旬の食材が給食で味わえることは本当にありがたいことです。

その感謝の気持ちを込めて、毎年一月にみどり市さんを給食に招いて「お礼の会」を開いています。

それぞれのクラスで二、三人の方を招き給食と一緒に食べ、感謝の気持ちを手紙に書いて渡したり、みどり市さんの野菜作りに対する想いやお話を聞きました。

給食で地場産野菜がどのように紹介されて、子どもたちがどれだけ喜んで食べているのかを知っていただくよい機会となりました。

これからも地域の皆さんの「愛情」をたっぷりいただき、感謝の気持ちをお忘れず、ますます子どもたちの心と体が大きく豊かになっていくような給食作りに努めていきたいと思っております。

平成22年度新規採用学校栄養職員の抱負

日々精進



永明中学校
北堀 恵

学校栄養職員になって早くも数ヶ月が過ぎました。初めての土地で、仕事も分からず不安でいっぱいでしたが、調理員さんや地域の栄養士の先生方、周りの先生方に支えられ、これまで何とかやってこることができました。失敗も多く落ち込むこともありますが、「子どもから「ごちそうさま」「おいしかったよ」が直接聞けることは、日々の仕事への原動力になっています。これからも毎日勉強。子どもたちの笑顔を作れるようなおいしい給食を目指し、頑張っていきたいと思います。

笑顔が見られる給食づくり



木曾養護学校
久馬 絢子

私は、今年の三月まで高齢者福祉施設で栄養士として働いていました。同じ職種でも仕事も環境も違うことばかりですが、変わらないことは給食を食べてくれた人(今は子ども達や先生方)が、「おいしかった」「ごちそうさまでした」と笑顔で言ってくれることが仕事の励みになっていくことです。給食のことは給食技師の先生に教えてもらい毎日お世話になるばかりですが、一日でも早く仕事に慣れ、子ども達や先生方の笑顔が見られる給食になるよう日々取り組んでいきたいと思っています。

長谷の給食



長谷学校給食共同調理場
佐藤 由夏

長谷中での生活は驚きの連続でした。春巻きや餃子、デザートに至るまでほとんどのものを手作りしていること、全校生徒、職員がランチルームに集まって食べることに、私の知らなかった特産品や方言があることなど、初めての体験ばかりだったからです。そして、私が驚きを感じたことはそのまま長谷の特色なのだと思います。まだまだ知らないことばかりですが、長谷のことをもっと知って、長谷の特色が生きている『長谷の給食』を提供できるように、努力していきたいと思います。

一日でも早く



福島中学校
柘津 愛美

福島中学校に勤務して一番驚いたことは「残食が少ない」ということです。できるだけ手作りの気持ちのこもった料理。そして、学校全体で、成長期の子どもの食事を見直すという姿勢。その両方が今の福島中学校の「食育」を支えているのだと思います。

今の私は、自分の仕事で精一杯で、多くの人に助けられて過しています。一日でも早く、自信をもって給食を提供し、食育を推進できるように、調理員さんや先生方、そして生徒と一緒に給食について考えていきたいです。

献立メモ



伊那小学校
服部 幸

「もったいないな…とつぶやいている子がいました。」
「ホワイトルウを作った先生に
よると…」
「今日の卵を割るのに、三〇分かかりました。」
これは、お昼の放送で流している献立メモの内容の一部です。給食をもっと身近に感じてほしいという気持ちを込めて、給食に関わる出来事などを伝えています。
献立メモを通して、子どもたちと給食技師の先生方をつなげる役目を感じています。

笑顔いっぱい給食



北相木小学校
北村 準平

早くも二ヶ月が過ぎました。現場に入ると、子どもたちの口に合った配慮が必要だと感じています。しかし、子どもが一週間先の献立を覚えていて楽しみにしていた時や、「これおいしい！」の一言が聞けた時は、苦労が吹っ切れます。

本校は全校児童、二十八名がランチルームで給食を食べています。一緒に食べている子どもたちの喜ぶ顔を思い浮かべながら献立を作ることが楽しみです。子どもたちのことを第一に考え、自然と笑顔が生まれる給食を提供していきたいです。

子どもたちの笑顔を思い浮かべながら

池田町松川村学校給食センター事務局長 藤沢 宜治

池田松川学校給食センターは、昭和四十年、全国でも初となる池田町と松川村による組合立の学校調理施設として発足しました。昭和五十五年に現在の施設に移り三十年が経過しています。この間、施設、設備とも補修等を繰り返してきました。



— 親子調理教室 —

た。三千食対応のセンターですが、現在は、両町村内の小学校三校、中学校二校の約千九百食の給食を提供しています。アレルギー対応食を含め、栄養士二名、調理員十二名で対応しています。子どもたちの笑顔を見ながら、おいしく、楽しく食べ



— 親子調理教室 —

べて頂けるようがんばっています。独自の取り組みとして、昨年より夏休みの間に親子料理教室を開催しています。今年も保健センターや、小学校に出向き、調理員が講師になり人気メニューを一緒に作ります。親子のふれあいの場として、給食に使う地元食材を使用し、その紹介や栄養のバランスなど食の大切さをいっしょに学習し、好評を頂いています。また、年三回給食センター新聞を作成し各学校に掲示して頂いています。模造紙一枚ですが、手作りで各学校の内容を変え小学校との交流を図っています。週四回の米飯はすべて地元産コシヒカリを使い、野菜も地元産食材を極力使用するようになっています。松川村では、平成十五年から給食野菜組合が設立され、児童生徒のために利益を求めずに地元食材をより安定的に安価に提供してもらっています。なにより安心・安全な食材を子供たちにという地域の願いが込めら

れた取り組みの一つです。

現在、新施設の建設に向け検討を進めています。学校給食法の改正、食育基本法の施行、調理機器の進歩など給食の理念が大きく変わってきており、改めて学校給食の大切さを認識する機会となっています。

給食会人事異動

- 6・30(水) 窪田雅武理事長退任
- 7・1(木) 小林昭人理事長就任

給食会日誌抄

- 5・12(月) 第一回拡大本部会 於本部
- 5・21(金) 関プロ学校給食研究協議会 於東京
- 5・23(日) パン商工組合総会 於長野
- 5・28(金) 麵業協同組合総会 於長野
- 6・2(水) 県PTA連合会総会 於長野
- 平成二十一年度会計監査 於本部

6・4(金)

栄養教諭・学校栄養職員部会総会 於長野

6・11(金)

県牛乳普及協会幹事会・学校給食用牛乳推進協議会合同会議 於長野

6・14(月)

第二回常務理事会 於長野

6・17(木)

社会保険事務・労働保険年次更新説明会 於長野

6・21(月)

全国学校給食振興期成会総会 於東京

6・23(水)

第一回理事会・評議員会 於本部

6・25(金)

全給連第一回定例総会 於長野

7・14(水)

県牛乳普及協会総会 於東京

第二回拡大本部会 於本部

機関紙 No.163

編集・発行
財団法人
長野県学校給食会
〒381-0103
長野市若穂川田3800-5
TEL 026-282-6080
FAX 026-282-6535
E-mail : info@nagk.or.jp

印刷所
有限会社 丸山印刷
TEL 026-226-0886